

(様式第 10)

防医医第 1994 号  
平成 27 年 10 月 1 日

厚生労働大臣 殿

管理者 防衛医科大学校病院長

防衛医科大学校病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第の規定に基づき、平成 26 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒162-8801 東京都新宿区市谷本村町5-1
氏 名	防衛大臣 中谷 元

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

防衛医科大学校病院
-----------

3 所在の場所

〒359-8513 埼玉県所沢市並木3-2	電話(04)2995-1511
-----------------------	-----------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<input checked="" type="checkbox"/> 1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、十六診療科名すべてを標榜
<input type="checkbox"/> 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
内科と組み合わせた診療科名等	
1 循環器内科 2 腎臓内科 3 内分泌・代謝内科 4 消化器内科 5 感染症・呼吸器内科 6 血液内科 7 神経内科	
診療実績	

(注) 1 「内科」欄及び「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「リウマチ科」及び「アレルギー科」についても、「内科と組み合わせた診療科等」欄に記入すること。

(注) 3 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(2) 外科

外科	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
外科と組み合わせた診療科名 1 消化器外科 2 心臓・血管外科 3 呼吸器外科 4 乳腺・内分泌外科 5 小児外科		
診療実績		

(注) 1 「外科」欄及び「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

<input type="checkbox"/> 1 精神科	<input type="checkbox"/> 2 小児科	<input type="checkbox"/> 3 整形外科	<input type="checkbox"/> 4 脳神経外科	<input type="checkbox"/> 5 皮膚科	<input type="checkbox"/> 6 泌尿器科	<input type="checkbox"/> 7 産婦人科	<input type="checkbox"/> 8 産科
<input type="checkbox"/> 9 婦人科	<input type="checkbox"/> 10 眼科	<input type="checkbox"/> 11 耳鼻咽喉科	<input type="checkbox"/> 12 放射線科	<input type="checkbox"/> 13 放射線診断科	<input type="checkbox"/> 14 放射線治療科	<input type="checkbox"/> 15 麻酔科	<input type="checkbox"/> 16 救急科

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
歯科と組み合わせた診療科名 1 歯科口腔外科 2 3 4 5 6 7		
歯科の診療体制		

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 形成外科	2 がん・薬物療法・腫瘍内科	3	4	5		
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21					

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
36床	10床	床	床	754床	800床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

(平成27年10月1日現在)

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	317人	44人	319.4人	看 護 補 助 者	32人	診 療 エ ッ ク ス 線 技 師	0人
歯 科 医 師	8人	1人	8人	理 学 療 法 士	3人	臨 床 検 査 技 師	32人
薬 剤 師	22人	0人	22人	作 業 療 法 士	2人	衛 生 検 査 技 師	0人
保 健 師	0人	0人	0人	視 能 訓 練 士	3人	そ の 他	3人
助 産 師	12人	0人	12人	義 肢 装 具 士	0人	あ ん 摩 マ ッ サ ー ジ 指 圧 師	0人
看 護 師	408人	12人	416.4人	臨 床 工 学 士	7人	医 療 社 会 事 業 従 事 者	4人
准 看 護 師	0人	1人	0.7人	栄 養 士	0人	そ の 他 の 技 術 員	6人
歯 科 衛 生 士	2人	0人	2人	歯 科 技 工 士	1人	事 務 職 員	64人
管 理 栄 養 士	3人	1人	3.7人	診 療 放 射 線 技 師	24人	そ の 他 の 職 員	24人

- (注) 1 申請前半年以内のある月の初めの日における員数を記入すること。  
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。  
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従業者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

(平成27年10月1日現在)

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	23人	眼 科 専 門 医	10人
外 科 専 門 医	29人	耳 鼻 咽 喉 科 専 門 医	14人
精 神 科 専 門 医	11人	放 射 線 科 専 門 医	3人
小 児 科 専 門 医	17人	脳 神 経 外 科 専 門 医	19人
皮 膚 科 専 門 医	4人	整 形 外 科 専 門 医	13人
泌 尿 器 科 専 門 医	10人	麻 酔 科 専 門 医	15人
産 婦 人 科 専 門 医	9人	救 急 科 専 門 医	6人
		合 計	183人

- (注) 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従業者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯 科 等 以 外	歯 科 等	合 計
1日当たり平均入院患者数	459.4人	3.4人	462.8人
1日当たり平均外来患者数	1,155人	41.4人	1,196.4人
1日当たり平均調剤数			359.7剤
必要医師数			116人
必要歯科医師数			3人
必要薬剤師数			16人
必要(准)看護師数			272人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。  
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。  
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除し

た数を記入すること。

4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要（准）看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

### 9 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設 備 概 要			
集中治療室	203.2m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	病床数	11床	心電計	有・無
			人工呼吸装置	有・無	心細動除去装置	有・無
			その他の救急蘇生装置	有・無	ペースメーカー	有・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 [移動式の場合] 台数	52.3m <sup>2</sup> 10台	病床数	4床		
医薬品情報管理室	[専用室の場合] [共用室の場合]	床積 共用する室名	37.8m <sup>2</sup>			
化学検査室	252m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 生化学迅速検体検査システム、全自動化学発光免疫測定装置、全自動蛍光酵素免疫測定装置、血液ガス分析装置			
細菌検査室	270m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 自動細菌検査装置、全自動抗酸菌培養検査システム、全自動高圧滅菌器、恒温器、CO <sub>2</sub> 培養器			
病理検査室	252m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 電子顕微鏡、自動免疫組織化学染色装置、染色封入システム、凍結標本作製システム、密閉式自動固定包埋装置			
病理解剖室	164m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 解剖台、空気清浄排気システム、安全キャビネット、ホルマリン希釈装置、超低温槽			
研究室	18,661m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 電子顕微鏡、遺伝子導入装置、定量遺伝子増幅装置、生体分子間相互作用解析装置、質量分析システム			
講義室	5,435m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	室数	13室	収容定員	1,200人
図書室	3,023m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	室数	8室	蔵書数	約19万冊程度

(注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。

2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

### 10 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

算定期間		平成26年4月1日～平成27年3月31日	
紹介率	78.8%	逆紹介率	40.4%
算出根拠	A: 紹介患者の数	13,264人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	8,325人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	2,954人	
	D: 初診の患者の数	20,582人	

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。





(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

### 高度の医療の提供の実績

#### 4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	41人	・膿疱性乾癬	4人
・多発性硬化症	51人	・広範脊柱管狭窄症	1人
・重症筋無力症	102人	・原発性胆汁性肝硬変	41人
・全身性エリテマトーデス	170人	・重症急性膵炎	8人
・スモン	0人	・特発性大腿骨頭壊死症	26人
・再生不良性貧血	38人	・混合性結合組織病	13人
・サルコイドーシス	106人	・原発性免疫不全症候群	12人
・筋萎縮性側索硬化症	8人	・特発性間質性肺炎	7人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	105人	・網膜色素変性症	18人
・特発性血小板減少性紫斑病	72人	・プリオン病	1人
・結節性動脈周囲炎	47人	・肺動脈性肺高血圧症	5人
・潰瘍性大腸炎	129人	・神経線維腫症	8人
・大動脈炎症候群	18人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	10人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	1人
・天疱瘡	18人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	8人
・脊髄小脳変性症	30人	・ライソゾーム病	1人
・クローン病	98人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	0人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	1人
・悪性関節リウマチ	14人	・脊髄性筋委縮症	1人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	96人	・球脊髄性筋委縮症	8人
・アミロイドーシス	6人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	16人
・後縦靭帯骨化症	30人	・肥大型心筋症	5人
・ハンチントン病	0人	・拘束型心筋症	1人
・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	23人	・ミトコンドリア病	3人
・ウェゲナー肉芽腫症	5人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	1人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	45人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	3人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	17人	・黄色靭帯骨化症	3人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	0人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	42人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。



(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・
・歯科外来診療環境体制加算	・
・特定機能病院入院基本料 一般 10対1入院基本料 看護必要度加算2	・
・特定機能病院入院基本料 精神 15対1入院基本料	・
・臨床研修病院入院診療加算	・
・救急医療管理加算	・
・超急性期脳卒中加算	・
・妊産婦緊急搬送入院加算	・
・診療録管理体制加算2	・
・療養環境加算	・
・緩和ケア診療加算	・
・無菌治療室管理加算1	・
・医療安全対策加算1	・
・感染防止対策加算1	・
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
・ハイリスク妊娠管理加算	・
・ハイリスク分娩管理加算	・
・データ提出加算2	・
・救命救急入院料2	・
・特定集中治療室管理料3	・
・小児入院医療管理料4	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

## (様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・糖尿病合併症管理料	・透析液水質確保加算1
・がん性疼痛緩和指導管理料	・皮膚悪性腫瘍切除術(悪性黒色腫センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。)
・がん患者指導管理料1	・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)
・がん患者指導管理料2	・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)
・外来緩和ケア管理料	・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術、脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
・地域連携診療計画管理料	・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
・がん治療連携計画策定料	・乳がんセンチネルリンパ節加算1、乳がんセンチネルリンパ節加算2
・薬剤管理指導料	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・医療機器安全管理料1	・経皮的冠動脈形成術
・歯科治療総合医療管理料	・経皮的冠動脈ステント留置術
・造血器腫瘍遺伝子検査	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
・検体検査管理加算(Ⅰ)	・植込型除細動器移植術及び植込型除細動器交換術及び経静脈電極抜去術(レーザーシースを用いるもの)
・検体検査管理加算(Ⅲ)	・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
・検体検査管理加算(Ⅳ)	・経皮的冠動脈遮断術
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・ダメージコントロール手術
・神経学的検査	・腹腔鏡下肝切除術
・小児食物アレルギー負荷検査	・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
・センチネルリンパ節生検(乳がんに係るものに限る。)	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・画像診断管理加算1	・体外衝撃波腎・尿管結石破砕術
・抗悪性腫瘍剤処方管理加算	・同種死体腎移植術
・CT撮影及びMRI撮影	・生体腎移植術
・外来化学療法加算1	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・無菌製剤処理料	・人工尿道括約筋植込・置換術
・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅱ)	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)	・医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6(歯科点数表第2章第9部の通則4を含む。)に掲げる手術

(様式第2)

### 高度の医療の提供の実績

#### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・麻酔管理料(Ⅰ)	・
・外来放射線治療加算	・
・高エネルギー放射線治療	・
・1回線量増加加算	・
・クラウン・ブリッジ維持管理料	・
・酸素単価	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 7 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

### 8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ②. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	1週間に4回程度
剖検の状況	剖検症例数 30例 / 剖検率 9.23%

## (様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
医療機器保守点検のガイドライン策定にむけた諸課題の調査研究	石原美弥	医用工学	4,375,000	①補委 厚労科研費
微小血管ネットワークを可視化する光音響画像化技術を用いた前立腺がん検出システムの開発	石原美弥	医用工学	25,500,000	①補委 厚労科研費
原発性免疫不全症候群の診断基準・重症度分類および診療ガイドラインの確立に関する研究	野々山恵章	小児科学	7,400,000	①補委 厚労科研費
原発性免疫不全症候群の病態解明と新規治療法の開発への応用	野々山恵章	小児科学	19,000,000	①補委 厚労科研費
福島第一原子力発電所事故復旧作業のストレスが労働者のメンタルヘルスに及ぼす影響	重村淳	精神科学	1,500,000	①補委 厚労科研費
国際共同治験に基づく小児稀少難病に対する遺伝子・細胞治療の実施とその支援体制の整備	野々山恵章	小児科学	1,500,000	①補委 厚労科研費
自己炎症疾患とその類縁疾患の診療基準、重傷度分類、診療ガイドライン確立に関する研究	野々山恵章	小児科学	1,000,000	①補委 厚労科研費
難治性炎症性腸管障害に関する調査研究	穂苅量太	内科学	500,000	①補委 厚労科研費
人工赤血球(ヘモグロビン小胞体)製剤の実用化を目指す研究	高瀬凡平	集中治療部	1,900,000	①補委 厚労科研費
ミトコンドリア脳筋症(MELAS)の脳卒中様発作に対するタウリン療法の開発	尾上祐行	内科学	1,000,000	①補委 厚労科研費
重症多形滲出性紅斑に関する調査研究	佐藤貴浩	皮膚科学	900,000	①補委 厚労科研費
人工血小板/H12(ADP)リボソーム:臨床研究への移行を目指した品質管理と薬物試験	木下学	免疫・微生物学	3,000,000	①補委 厚労科研費
腎・泌尿器系の希少・難治性疾患群に関する診断基準・診療ガイドラインの確立	四ノ宮成祥	分子生体制御学	1,500,000	①補委 厚労科研費
免疫アレルギー疾患予防・治療研究に係る企画及び評価の今後の方向性の策定に関する研究	安酸史子	成人看護学	760,000	①補委 厚労科研費
アトピー性皮膚炎の難治性皮膚病変の病態解析と病態に基づいたピンポイントな新規治療の開発	佐藤貴浩	皮膚科学	1,000,000	①補委 厚労科研費
早期乳がんに対するラジオ波熱焼灼療法の標準化に係る多施設共同試験	津田 均	病態病理学	1,200,000	①補委 厚労科研費

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
原発性免疫不全症候群に対する造血幹細胞移植法の確立	野々山恵章	小児科学	800,000	補委	厚労科研費
自己炎症性疾患の治療標的分子の同定および薬剤開発基盤の整備	野々山恵章	小児科学	1,000,000	補委	厚労科研費
直腸癌側方骨盤リンパ節転移の術前診断の妥当性に関する観察研究	長谷和生	外科学	500,000	補委	厚労科研費
上皮性卵巣癌の妊孕性温存治療の対象拡大のための非ランダム化検証的試験	高野政志	腫瘍化学療法部	1,500,000	補委	厚労科研費
免疫性ニューロパチーの治療反応性予測に基づく有効な治療戦略の構築	海田賢一	内科学	500,000	補委	厚労科研費
頭蓋と脳形態の相関に関する研究:化石人類の脳区分推定に向けて	小林靖	解剖学	1,500,000	補委	文科科研費
精子競争により進化し多様化した運動マシナリーのモデル化	野口立彦	生物学	3,900,000	補委	文科科研費
オプトジェネティクスによる転写環境制御	櫛引俊宏	医用工学	6,800,000	補委	文科科研費
貪食B細胞の免疫能に関する研究	中島正裕	免疫・微生物学	1,100,000	補委	文科科研費
救急搬送が必要な独居高齢者が、緊急時通報システムを使用しない要因	山岸里美	看護学科防衛看護学	1,100,000	補委	文科科研費
大脳皮質形成の神経細胞移動と配置におけるERK1/2の役割	今村幸	生化学	197,259	補委	文科科研費
尿解析による腎疾患の診断に関する検討	尾田高志	病院内科	1,194,998	補委	文科科研費
ふなずし由来新規ラクトバシラス属菌が有する強力な抗炎症効果の作用機序	岡田義清	内科学	1,403,057	補委	文科科研費
インドシアニングリーン-金ナノ粒子結合体を用いた腫瘍および脈管病変の診断治療技術	東隆一	病院形成外科	691,233	補委	文科科研費
頭頸部癌に対するDNA修復阻害遺伝子導入による化学療法および放射線療法増感効果	山下拓	耳鼻いんこう科学	1,116,888	補委	文科科研費
術中覚醒を減少させるための麻酔関連薬剤の薬物動態力学研究	増井健一	病院麻酔科	1,077,301	補委	文科科研費
吸入麻酔の種類による幼若脳の障害の発現型及び程度の比較	児玉光厳	麻酔学	2,263,115	補委	文科科研費
微小管細胞骨格による精子オルガネラの形態形成機構の研究	野口立彦	生物学	835,144	補委	文科科研費

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
脂質の可視化と病理診断への応用	岩屋啓一	病態病理学	1,469,057	補 委	文科科研費
肺高血圧症等による右心負荷時の致死性不整脈の発生機序の解明	高瀬凡平	病院集中治療部	820,115	補 委	文科科研費
抗ガングリオシド抗体の神経障害機構の解明と新規治療法の開発	海田賢一	内科学	2,016,800	補 委	文科科研費
ストレスに対する細胞応答	丹生谷正志	病院精神科	1,206,151	補 委	文科科研費
超分子デバイスを用いた胃癌の転移診断と光線力学療法の効果に関する研究	辻本広紀	病院外科	3,185,558	補 委	文科科研費
光による肝細胞機能の計測に関する研究	山本順司	外科学	1,675,627	補 委	文科科研費
吸入麻酔薬が肝単核球免疫能に与える影響	高橋哲也	病院麻酔科	2,740,399	補 委	文科科研費
前立腺癌手術における的確な神経温存のための超音響画像化技術の有用性の検証	堀口明男	病院泌尿器科	1,860,655	補 委	文科科研費
網膜抗原特異的サイトカイン測定によるインフリキシマブ治療の適用、効果判定の検討	竹内大	眼科学	2,838,394	補 委	文科科研費
新人看護師の離職とストレス対応能力(SOC)に関する研究	山住康江	看護学科基礎看護学	596,232	補 委	文科科研費
維持期リハビリテーションを促進する車いす使用高齢者の姿勢アセスメント指針の検討	横山悦子	看護学科母性看護学	910,464	補 委	文科科研費
着磁体による磁界の乱れを利用した閉創前ガーゼ感知システムの開発	檜頭成	病院外科	1,113,290	補 委	文科科研費
放射線照射によるiPS細胞移植治療時の腫瘍発生抑制法の開発	松村耕治	共同利用研究施設	1,638,534	補 委	文科科研費
ふく射輸送方程式逆問題の高空間分解能解法による光を用いた乳がん検診技術の開発	大川晋平	医用工学	2,840,898	補 委	文科科研費
MR組織学技術を用いたヒト剖検脳の組織構築画像による病理診断法の開発	金涌佳雅	法医学	1,049,230	補 委	文科科研費
閉経後の椎間板変性機序解明に関する研究	細金直文	病院整形外科	1,206,404	補 委	文科科研費
薬物療法により病状進行となる高悪性度乳癌の予測に役立つ分子マーカーの検討	津田均	病態病理学	1,883,282	補 委	文科科研費
安定同位元素比分析の身元不明遺体の出身地域の推定への応用	染田英利	防衛医学	536,652	補 委	文科科研費

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
非アルコール性脂肪性肝炎と耐糖能異常におけるマクロファージの役割	中島弘幸	免疫・微生物学	2,000,369	補 委	文科科研費
短パルス光の機械的・音響的作用を用いた血液脳関門の新規制御・評価技術の創出	佐藤俊一	防衛医学研究センター 情報システム研究部門	1,206,462	補 委	文科科研費
異なるタイプの動脈瘤(紡錘瘤・嚢状瘤・解離性動脈瘤)発症機序の解明	磯田菊生	病院内科	2,902,398	補 委	文科科研費
新規原因遺伝子PSCK9による家族性高コレステロール血症のアポ蛋白代謝異常の解明	池脇克則	内科学	1,205,180	補 委	文科科研費
発汗異常に伴う掌蹠の難治性皮膚疾患のOCTを用いた3次元的な病態の解析	西澤綾	病院皮膚科	773,530	補 委	文科科研費
痒疹及び近縁アレルギー疾患の炎症・痒みの病態解明とピンポイントな治療法の確立	佐藤貴浩	皮膚科学	2,331,892	補 委	文科科研費
CD133・COX2・CD8による術前化学放射線療法の効果予測因子としての意義	神藤英二	病院外科	2,331,119	補 委	文科科研費
大腸癌における新たな病理的指標とNomogramを用いた予後予測システムの確立	上野秀樹	外科学	1,398,740	補 委	文科科研費
水素-マグネシウム投与による新しい脳保護法の開発	森健太郎	脳神経外科学	1,488,965	補 委	文科科研費
気管狭窄に対する遺伝子導入と分子標的薬を用いた新しい治療法の開発	富藤雅之	病院耳鼻咽喉科	1,236,240	補 委	文科科研費
衝撃波に起因するびまん性肺出血の病態解明と止血制御対策	萩沢康介	生理学	1,380,574	補 委	文科科研費
ナノシートとマイクロスキンを用いた重症熱傷救命のための治療開発研究	齋藤大蔵	防衛医学研究センター 外傷研究部門	1,372,037	補 委	文科科研費
顎顔面痛において性ホルモンがGABA機能に与える影響とそのメカニズムの解明	田代晃正	生理学	1,376,120	補 委	文科科研費
レスベラトロールによる脂肪肝改善効果の検討-クッパー細胞の機能と脂質代謝の変化	西川可穂子	救急部	1,484,212	補 委	文科科研費
小腸を介したコレステロール逆転送を活性化するポリフェノールの網羅的探索	近藤春美	内科学	1,000,000	補 委	文科科研費
脂質異常症による神経新生障害の機序解明	石塚俊晶	薬理学	1,400,000	補 委	文科科研費
死別を体験した子どもの心理・社会的サポートの構築と検証に関する研究	高橋聡美	看護学科精神看護学	1,600,000	補 委	文科科研費
Neurovascular Unit形成による脳組織再生法の開発	渡辺康裕	薬理学	1,300,000	補 委	文科科研費



研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
非celiacグルテン過敏性腸症の実態調査-過敏性腸症候群との関連に注目して-	渡邊知佳子	内科学	1,500,000	補委	文科科研費
神経芽細胞腫におけるNIPA蛋白とMYCN蛋白の相互作用についての研究	川口裕之	小児科学	1,350,000	補委	文科科研費
東日本大震災の災害救援業務において救援者が被る心理的影響に関する縦断研究	長峯正典	防衛医学研究センター 行動科学研究部門	1,500,000	補委	文科科研費
StageIII大腸癌患者における術後補助化学療法の効果予測因子の抽出	長谷和生	外科学	1,100,000	補委	文科科研費
小胞体ストレス誘導による膀胱癌新規治療法の開発	佐藤全伯	病院泌尿器科	900,000	補委	文科科研費
難治性頭頸部癌に対する腫瘍溶解性センダイウイルスによる治療効果	山下拓	耳鼻いんこう科学	1,500,000	補委	文科科研費
センチネルリンパ節を標的とした新たな頭頸部癌機能温存治療の開発	荒木幸仁	病院耳鼻いんこう科	2,000,000	補委	文科科研費
ビタミンDの前眼部上皮における働きに関する細胞生物学的研究	伊藤正孝	再生発生学	1,400,000	補委	文科科研費
侵襲時の生体防御不全対策としての食細胞活性化	宮崎裕美	防衛医学研究センター 外傷研究部門	1,150,000	補委	文科科研費
ルーブリック評価を取り入れたカリキュラムとその効果に関する研究	北川明	看護学科精神看護学	1,300,000	補委	文科科研費
痛風遺伝子の分子遺伝疫学的解析によるパーキンソン病の新規予防因子の解明	松尾洋孝	分子生体制御学	1,763,593	補委	文科科研費
頭部外傷後の脳虚血侵襲時に出現する神経幹細胞の性質及び動的変化の病理組織学的検討	原田一樹	法医学	1,918,785	補委	文科科研費
ICF症候群のB細胞最終分化障害に関わる遺伝子の同定と機能解析	野々山恵章	小児科学	1,776,699	補委	文科科研費
会陰アプローチによる仙骨前隙を利用した腹腔鏡下手術	谷水長丸	外科学	1,404,610	補委	文科科研費
末梢神経過誤再生に対する新しい治療法の開発	塩谷彰浩	耳鼻いんこう科学	1,529,485	補委	文科科研費
新規合成法による銀ナノ粒子と担体との複合化による抗微生物化衛生・医療材料の創製	石原雅之	防衛医学研究センター 医療工学研究部門	1,700,000	補委	文科科研費
蛍光マルチスペクトル内視鏡による標的蛍光物質の定量イメージング	守本祐司	分子生体制御学	1,800,000	補委	文科科研費
肥満児はなぜアレルギーになりやすいのか？-高糖質食と脂肪組織との関連について-	服部秀美	防衛医学研究センター 医療工学研究部門	1,700,000	補委	文科科研費

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
新規抗酸化剤を用いた新しい放射線傷害軽減対策	木下学	免疫・微生物学	700,000	補委	文科科研費
光線力学療法によるHelicobacter pylori除菌に関する研究	平木修一	外科学	700,000	補委	文科科研費
生体組織工学を利用した新しい尿道再建手術の開発	櫛引俊宏	医用工学	2,800,000	補委	文科科研費
医療施設における高齢者看護の質評価指標の開発	松井美帆	看護学科老年看護学	1,000,000	補委	文科科研費
深部血管の非侵襲計測が可能な光音響法による血液酸素飽和度分布画像化システムの開発	平沢壮	医用工学	1,800,151	補委	文科科研費
中枢神経疾患における拡張性脱分極の光イメージングと光制御に関する研究	川内聡子	防衛医学研究センター 情報システム研究部門	1,326,272	補委	文科科研費
光、磁場を利用したIn vivo遺伝子発現操作系の開発	伊達木穰	生化学	2,843,882	補委	文科科研費
肝細胞特異的な外来遺伝子のゲノム挿入系の開発とその応用	中村伸吾	防衛医学研究センター 医療工学研究部門	2,178,354	補委	文科科研費
口腔顔面運動神経細胞に入力するコリン作動性C-terminalネットワークの解析	松井利康	解剖学	1,242,595	補委	文科科研費
心臓におけるBKCaの生理的意義の解明および治療応用の検討	矢田浩崇	病院内科	2,703,661	補委	文科科研費
痒疹モデルマウスの樹立と解析による治療方法の研究	端本宇志	皮膚科学	1,321,030	補委	文科科研費
幼若脳への麻酔薬の神経毒性に対する治療法の開発	与那嶺龍二	病院手術部	1,882,064	補委	文科科研費
音声分析を用いたストレス評価および精神疾患スクリーニング技術の開発	妻鳥元太郎	防衛医学	1,813,989	補委	文科科研費
血管新生・再生の制御を目的とした『広帯域光音響画像』による血管径の定量化技術	石原美弥	医用工学	7,865,526	補委	文科科研費
分子遺伝疫学的解析による痛風の病態解明とゲノムテラピー医療への応用	松尾洋孝	分子生体制御学	5,050,300	補委	文科科研費
発達中の脳における麻酔薬の神経毒性に関する包括的研究	風間富栄	麻酔学	6,600,000	補委	文科科研費
Compromised hostへの重度侵襲対策	木下学	免疫・微生物学	5,902,823	補委	文科科研費
看護系大学における発達障害傾向学生に対するサポート・スペクトラム構築に関する研究	安酸史子	看護学科成人看護学	1,423,508	補委	文科科研費

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
先天性免疫不全症由来iPS細胞を用いた新規免疫系細胞分化因子の同定	野々山恵章	小児科学	5,300,000	①補委 文科科研費
光線力学効果に基づく感染制御と創傷治癒促進による新しい褥瘡治療	守本祐司	分子生体制御学	3,200,000	①補委 文科科研費
細胞機能および細胞分化制御のための光技術の創製	櫛引俊宏	医用工学	6,093,244	①補委 文科科研費
卒後1年目看護師の定着率向上を目的とした広域包括支援プログラムの開発研究	安酸史子	看護学科成人看護学	100,000	①補委 文科科研費
卒後1年目看護師の定着率向上を目的とした広域包括支援プログラムの開発研究	北川明	看護学科精神看護学	50,000	①補委 文科科研費
東日本大震災における遺族への心理社会的支援プログラムの開発と検証に関する研究	高橋聡美	看護学科精神看護学	500,000	①補委 文科科研費
ポルフィリン生合成系タンパクをマーカーとした口腔がんパーソナライズド光線力学療法	守本祐司	分子生体制御学	600,000	①補委 文科科研費
口腔扁平苔癬に対する5-アミノレブリン酸を用いた光線力学療法・診断	守本祐司	分子生体制御学	300,000	①補委 文科科研費
生物群集の種多様性に関する個体ベース空間明示モデリング	小田牧子	数学	328,830	①補委 文科科研費
思春期特発性側弯症の進行予測モデルの確立	細金直文	病院整形外科	500,000	①補委 文科科研費
NASH発症における自然免疫防御反応とKupffer細胞の機能分化の解析	中島弘幸	免疫・微生物学	100,000	①補委 文科科研費
血糖値変動の実態解明による慢性疾患予防プログラムの構築	櫻井裕	衛生学公衆衛生学	100,000	①補委 文科科研費
血糖値変動の実態解明による慢性疾患予防プログラムの構築	西田育弘	生理学	100,000	①補委 文科科研費
「渇き」への爽快感のある「潤い」は是が非か？	田代晃正	生理学	100,000	①補委 文科科研費
活性化ビタミンD3外用剤のマイボーム腺機能不全(MGD)治療への応用	伊藤正孝	再生発生学	150,000	①補委 文科科研費
尿解析による腎疾患の診断に関する検討	櫻井裕	衛生学公衆衛生学	150,000	①補委 文科科研費
敗血症性免疫不全対策としての血液浄化療法の意義に関する研究	辻本広紀	病院外科	50,000	①補委 文科科研費
敗血症性免疫不全対策としての血液浄化療法の意義に関する研究	木下学	免疫・微生物学	50,000	①補委 文科科研費

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
敗血症性免疫不全対策としての血液浄化療法の意義に関する研究	宮崎裕美	防衛医学研究センター 外傷研究部門	100,000	補 委	文科科研費
敗血症性免疫不全対策としての血液浄化療法の意義に関する研究	平木修一	外科学	50,000	補 委	文科科研費
敗血症性免疫不全対策としての血液浄化療法の意義に関する研究	青笹李文	病院外科	50,000	補 委	文科科研費
機能性プローブに基づく生体深部光音響イメージング技術の確立: activatableプローブの開発研究とin vivo可視化イメージング技術の開発	石原美弥	医用工学	12,000,000	補 委	文科科研費
バイオメディカル光イメージングにおける数理モデルと画像再構成	大川晋平	医用工学	1,430,000	補 委	文科科研費
内因性蛍光により動脈硬化を診断するマルチスペクトルイメージング内視鏡	守本祐司	分子生体制御学	1,477,867	補 委	文科科研費
ストレスチェック用デバイス開発に関する研究	守本祐司	分子生体制御学	12,992,438	補 委	文科科研費
光音響波センサーを利用した経皮的心大血管酸素飽和度測定装置の開発	石原美弥	医用工学	700,000	補 委	文科科研費

小計 8

総計 132

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

### 2 論文発表等の実績

#### (1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	Hakuno Dahiko	内科学	Plasma amino acid profiling identifies specific amino acid associations with cardiovascular function in patients with systolic heart failure.	PLoS One 10(2):e0117325, 2015
2	Isobe Sarasa	内科学	Right coronary artery-left ventricle fistula with giant coronary artery aneurysm.	European heart journal cardiovascular Imaging 16(2):231, 2014
3	Toya Takumi	内科学	Arginase inhibition augments nitric oxide production and facilitates left ventricular systolic function in doxorubicin-induced cardiomyopathy in mice.	Physiological reports 2(9). pii: e12130, 2014
4	Isoda Kikuo	内科学	Interleukin-1 receptor antagonist originating from bone marrow-derived cells and non-bone marrow-derived cells helps to suppress arterial inflammation and reduce neointimal formation after injury.	Journal of atherosclerosis and thrombosis 21(11):1208- 18, 2014
5	Kimura Toyokazu	内科学	Spontaneous hemostasis of coronary artery aneurysm rupture.	Circulation journal 78(10):2519-20, 2014
6	Sato Atsushi	内科学	Serial images of porcelain atrium.	European heart journal 35(22):1495, 2014
7	Uchida T	内科学	Role of tubulointerstitial plasmin in the progression of IgA nephropathy.	Journal of Nephrol. 2015; 14.
8	Uchida T	内科学	Medullary sponge kidney diagnosed by unenhanced magnetic resonance imaging.	Iran J Kidney Dis. 2015 ;9(1):18.
9	Chiba T	内科学	NPT1/SLC17A1 is a renal urate exporter in humans and its common gain-of-function variant decreases the risk of renal underexcretion gout.	Arthritis Rheumatol. 2015 Jan;67(1):281-7. doi: 10.1002/art.38884.
10	Naoki Oshima	内科学	Expression and functions of $\beta$ 1- and $\beta$ 2- adrenergic receptors on the bulbospinal neurons in the rostral ventrolateral medulla.	Hypertension Research 37(11):976-983. 2014
11	Shimamoto K	内科学	The Japanese Society of Hypertension Guidelines for the Management of Hypertension (JSH 2014).	Hypertens Res. 2014 ;37(4):253-390.
12	Uchida T	内科学	Transition from endocapillary proliferative glomerulonephritis to membrano proliferative glomerulonephritis in a patient with a prolonged human parvovirus B19 infection.	Clin Nephrol 2014; 82: 62-67.
13	Sato Hirokazu	内科学	Pregnant woman with non-comatose autoimmune acute liver failure in the second trimester rescued using medical therapy: A case report.	Hepatol Res 45(3):349-55, 2015.3

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
14	Tomita Kengo	内科学	Acyl-CoA:cholesterol acyltransferase 1 mediates liver fibrosis by regulating free cholesterol accumulation in hepatic stellate cells.	J Hepatol 61(1):98-106, 2014.7
15	Watanabe Chikako	内科学	Chronic antibiotic-refractory diversion pouchitis successfully treated with leukocyteapheresis.	Ther Apher Dial 18(6):644-5, 2014.12
16	Hozumi Hideaki	内科学	Phlebosclerotic colitis that was difficult to distinguish from collagenous colitis.	Dig Endosc 26(4):594-8, 2014.7
17	Watanabe Chikako	内科学	Prevalence of serum celiac antibody in patients with IBD in Japan.	J Gastroenterol 49(5):825-34, 2014.5
18	Imai K	内科学	Chronic Chagas disease with advanced cardiac complications in Japan: Case report and literature review.	Parasitol Int.2015 Mar 3;64(5):240-242
19	Sasaki H	内科学	Human herpes virus -8-associated multicentric Castleman's disease in an HIV-positive patient presenting with relapsing and remitting hyponatremia.	Int J STD AIDS 2014 Dec 9 pii: 0956462414562050
20	Kawano S	内科学	Loop-mediated isothermal amplification with the Procedure for Ultra Rapid Extraction kit for the diagnosis of pneumocystis pneumonia.	J Infect Chemother 2015 Mar;21(3):224-6
21	Mikita K	内科学	The Direct Boil-LAMP method: a simple and rapid diagnostic method for cutaneous leishmaniasis.	Parasitol Int. 2014 Dec;63(6):785-9.
22	Kawano S	内科学	Successful diagnosis of tuberculous lymphadenitis by loop-mediated isothermal amplification of cutaneous samples from an ulcerated surface lesion: a case report.	J Med Case Rep. 2014 Jul 16;8:254.
23	Ikewaki K	内科学	In vivo kinetic studies to further understand pathogenesis of abnormal lipoprotein metabolism in chronic kidney disease	Clin Exp Nephrol. 18(2):261-4, 2014
24	Harumi Uto-Kondo	内科学	Citrulline increases cholesterol efflux from macrophages in vitro and ex vivo via ATP-binding cassette transporters.	J. Clin. Biochem. Nutr. 55(1): 32-39, 2014
25	Uto-Kondo H	内科学	Ezetimibe enhances macrophage reverse cholesterol transport in hamsters: Contribution of hepato-biliary pathway	Biochim Biophys Acta. 1841(9):1247-1255, 2014
26	Sasaki M	内科学	Sterol Regulatory Element-Binding Protein 2 and Low-Density Lipoprotein Receptor-Dependent Pathways	Arterioscler Thromb Vasc Biol. 34(6):1171-8, 2014
27	Kadoya M	内科学	Refractory status epilepticus caused by anti-NMDA receptor encephalitis that markedly improved following combination therapy with rituximab and cyclophosphamide.	Intern Med. 54(2):209- 13, 2015
28	Moriguchi K	内科学	Neuromyelitis optica overlapping systemic sclerosis with anti-centromere antibodies.	J Neurol Sci. 353(1- 2):191-2, 2015.

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
29	Koji Akita	内科学	Acute spinal subdural hematoma in a patient with active systemic lupus erythematosus: A case report and literature review	Intern Med. 2014;53(8):887-90. Epub 2014 Apr 15.
30	Junichi Watanabe	内科学	Elevated total iron-binding capacity as a predictor of response to deferasirox therapy in the setting of chronic iron overload.	International journal of hematology 100(3):254-259,2014
31	Junichi Watanabe	内科学	Tracheobronchomalacia after allogeneic BMT; pulmonary function test findings similar to those of bronchiolitis obliterans.	Bone Marrow Transplantation 49(11):1450-1451,2014
32	Sasaki H	内科学	Human herpes virus -8-associated multicentric Castleman's disease in an HIV-positive patient presenting with relapsing and remitting hyponatremia.	Int J STD AIDS. 2014 Dec 9. pii: 0956462414562050. [Epub ahead of print]PMID:25504830
33	Kadoya M	内科学	, Onoue H, Kadoya A, Ikewaki K, Kaida K.Rituximab and Cyclophosphamide.	Internal Medicine 54(2):209-213, 2015
34	Matsuo H	内科学	ABCG2 variant has opposing effects on onset ages of Parkinson's disease and gout.	Annals of Clinical and Translational Neurology. 2:302-306, 2015. DOI: 10.1002/acn3.167 (2015.3.issue)
35	Nobutaka Hirooka	総合臨床部	Management of primary iliopsoas abscess in an immunocompetent patient followed by streptococcal toxic shock syndrome: A case report	SAGE Open Medical Case Reports(DOI:10.1177/2050313X15575939)
36	Mieno Shiraishi	総合臨床部	A high concentration of triiodothyronine attenuates the stimulatory effect on hemin-induced erythroid differentiation of human erythroleukemia K562 cells	The Japan Endocrine Society (doi:10.1507/endocrj.EJ14-0427)
37	Hiroko Fujii	総合臨床部	Marked Cortisol Production by Intracrine ACTH in GIP-Treated Cultured Adrenal Cells in Which the GIP Receptor Was Exogenously Introduced	PLOS ONE October 2014/Vol.9/Issue 10 /e110543
38	TAKANO MASASHI	腫瘍化学療法部	Efficacy and safety of triple therapy with aprepitant, palonosetron, and dexamethasone for preventing nausea and vomiting induced by cisplatin-based chemotherapy for gynecological cancer:KCOG trial.	Support Care Cancer
39	TAKANO MASASHI	腫瘍化学療法部	Simultaneous analysis of the gene expression profiles of cancer and stromal cells in endometrial cancer.	Genes Chromosomes Cancer
40	TAKANO MASASHI	腫瘍化学療法部	X-chromosome-linked inhibitor of apoptosis as a key factor for chemoresistance in clear cell carcinoma of the ovary	Brit J Cancer
41	TAKANO MASASHI	腫瘍化学療法部	Gynecologic Cancer InterGroup (GFIG) Consensus Review for Clear Cell Carcinoma of the Ovary.	Int J Gynecol Cancer24 (9Supple3):S20-S25
42	TAKANO MASASHI	腫瘍化学療法部	DNA mismatch repair-related protein loss as a prognostic factor in endometrial cancers.	J Gynecol Oncol26(1):40-45
43	TAKANO MASASHI	腫瘍化学療法部	Evaluation of Endometrial Cytology: Cytohistological Correlations in 1,441 Cancer Patients.	Oncology 2015; 88(2): 86-94

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
44	TAKANO MASASHI	腫瘍化学療法部	Dedifferentiated endometrioid adenocarcinoma of the uterus: a case report and review of adjuvant therapeutic modalities.	Eur J Gynaecol Oncol
45	TAKANO MASASHI	腫瘍化学療法部	Administration of standard-dose BEP regimen (bleomycin + etoposide + cisplatin) is essential for treatment of ovarian yolk sac tumor.	Eur J Cancer
46	TAKANO MASASHI	腫瘍化学療法部	High expression of SQSTM1/p62 protein is associated with poor prognosis in epithelial ovarian cancer	Acta Histochemica et Cytologica
47	TAKANO MASASHI	腫瘍化学療法部	High-temperature-required protein A2 as a predictive marker for response to chemotherapy and prognosis in patients with high-grade serous ovarian cancers	Brit J Cancer
48	TAKANO MASASHI	腫瘍化学療法部	Paclitaxel plus Carboplatin Versus Paclitaxel plus Cisplatin in Metastatic or Recurrent Cervical Cancer: The Open-Label Randomized Phase III Trial (JCOG0505)	J Clin Oncol
49	TAKANO MASASHI	腫瘍化学療法部	Clinical tumor diameter and prognosis of patients with FIGO stage IB1 cervical cancer (JCOG0806-A)	Gynecol Oncol
50	Moriya Tomoyuki	外科学	Influence of fish to soybean oil ratio on hepatic mononuclear cell function and survival after intraportal bacterial challenge in parenterally fed mice.	Surgery 155(4); 711-718, 2014.04
51	Ueno Hideki	外科学	Histologic Categorization of Fibrotic Cancer Stroma in the Primary Tumor Is an Independent Prognostic Index in Resectable Colorectal Liver Metastasis	Am J Surg Pathol 38(10): p.1380-1386, 2014.10
52	Shinto Eiji	外科学	Prognostic Value of the Number and Size of Venous Invasions in pT3 Colorectal Cancer: A Prospective Observational Study	World Journal of Surgery 3(12)8: p.3257-3264, 2014.08
53	Ueno Hideki	外科学	Prognostic impact of histological categorisation of epithelial-mesenchymal transition in colorectal cancer	British Journal of Cancer 111: p.2082-2090, 2014.08
54	Kubo Touru	外科学	Impact of the perioperative neutrophil-to-lymphocyte ratio on the long-term survival following an elective resection of colorectal carcinoma	Int J Colorectal Dis 29(9): p.1091-1099, 2014.07
55	Ueno Hideki	外科学	Potential Causes of Stage Migration and Their Prognostic Implication in Colon Cancer: A Nationwide Survey of Specialist Institutions in Japan	Japanese Journal of Clinical Oncology 44(6): p.547-555, 2014.06
56	Ueno Hideki	外科学	Histogenesis and prognostic value of myenteric spread in colorectal cancer: a Japanese multi-institutional study	The Japanese Society of Gastroenterology 49: p.400-407, 2014.04
57	Ueno Hideki	外科学	Peritumoral deposits as an adverse prognostic indicator of colorectal cancer	The American Journal of Surgery 207: p.70-77, 2014.04
58	Tsujimoto Hironori	外科学	Photodynamic therapy using nanoparticle loaded with indocyanine green for experimental peritoneal dissemination of gastric cancer.	Cancer Science 105(12): p.1626-1630, 2014.12



番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
59	Toda Hiroyuki	精神科学	Maternal separation enhances conditioned fear and decreases the mRNA levels of the neurotensin receptor 1 gene with hypermethylation of this gene in the rat amygdala.	PLoS One 9(5):e97421,2014
60	Otabe Hiroyuki	精神科学	Electroconvulsive seizures enhance autophagy signaling in rat hippocampus.	Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry 50:37-43,2014
61	Takahashi Tomohisa	精神科学	Environmental enrichment enhances autophagy signaling in the rat hippocampus.	Brain Res 1592:113-123,2014
62	Chida A	小児科学	The soluble ST2 and NT-proBNP combination, a useful biomarker for predicting prognosis of childhood pulmonary arterial hypertension.	Circulation Journal. 78(2):436-442, 2014
63	Kojima R	小児科学	Galectin-9 enhances cytokine secretion, but suppresses survival and degranulation, in human mast cell line.	PLoS One. 2014, 9:1:e86106. (DOI:10.1371/journal.p one.0086106)
64	Chida A	小児科学	Mutations of NOTCH3 in childhood pulmonary arterial hypertension.	Molecular Genetics & Genomic Medicine. 2(3):229-239, 2014
65	Horiuchi K	小児科学	Analysis of somatic hypermutation in the IgM switch region in human B cells.	Journal of Allergy Clinical Immunology. 2014, 134:411-419.
66	Matsumoto H	小児科学	Chromosome 9q33q34 microdeletion with early infantile epileptic encephalopathy, severe dystonia, abnormal eye movements, and nephroureteral malformations.	Pediatric Neurology. 2014, 51:170-175.
67	Kato T	小児科学	RAG1 deficiency may present clinically as selective IgA deficiency.	Journal of Clinical Immunology. doi: 10.1007/s10875-015- 0146-4. (online 2015, Mar.)
68	Mitsui-Sekinaka K	小児科学	Clinical features and hematopoietic stem cell transplantations for CD40 ligand deficiency in Japan.	Journal of Allergy Clinical Immunology. doi:10.1016/j.jaci.2015. 02.020. (online 2015, Mar.)
69	Imabayashi Hideaki	整形外科科学	Pyogenic spondylitis initially presenting vertebral compression fracture: report of three cases	Journal of Spine Research 6 (2): 132- 138, 2015
70	Hosogane Nabumi	整形外科科学	A novel percutaneous guide wire (S-wire) for percutaneous pedicle screw insertion: its development, efficacy, and safety.	Surgical Innovation Nov 27, 2014 (Epub ahead of print)
71	Hosogane Nabumi	整形外科科学	Posterior correction and fusion surgery using pedicle-screw constructs for Lenke type 5C adolescent idiopathic scoliosis: a preliminary report.	Spine (Phila Pa 1976) 40 (1): 25-30, 2015
72	Hosogane Nabumi	整形外科科学	A PAX1 enhancer locus is associated with susceptibility to idiopathic scoliosis in females	NATURE COMMUNICATIONS 18 Mar 2015
73	Hosogane Nabumi	整形外科科学	Scoliosis is a risk factor for gastroesophageal reflux disease in adult spinal deformity	Journal of Spinal Disorders and Techniques 2015 (Epub ahead of print)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
74	Matsukawa Keitaro	整形外科学	Cortical bone trajectory for thoracic pedicle screws: a technical note.	Journal of Spinal Disorders and Techniques July 2014 (Epub ahead of print)
75	Matsukawa Keitaro	整形外科学	Cortical bone trajectory for lumbosacral fixation: penetrating S1 endplate screw technique	Journal of Neurosurgery Spine 21(2): 203-209, 2014
76	Matsukawa Keitaro	整形外科学	In vivo analysis of insertional torque during pedicle screwing using cortical bone trajectory technique.	Spine (Phila Pa 1976) 39(4): E240-245, 2014
77	Nagatani K	脳神経外科	Aneurysm-induced oculomotor palsy in neurofibromatosis Type 1	Austin J Neurosurg 1(1):2, 2014
78	Otani N	脳神経外科	Uncooled infrared camera for the noninvasive visualization of the vascular flow in an anastomotic vessel during neurological surgery: Technical note.	Neurol Med Chir (Tokyo)54:502-506, 2014
79	Otani N,	脳神経外科	Noninvasive thermographic visualization of the extent of carotid plaque distribution during carotid endarterectomy using an uncooled infrared camera.	Surg Neurol Int 5:144, 2014
80	Takeuchi S,	脳神経外科	Effects of intravenous infusion of hydrogen-rich fluid combined with intra-cisternal infusion of magnesium sulfate in severe aneurysmal subarachnoid hemorrhage: study protocol for a randomized control trial.	BMC Neurology
81	Otani N,	脳神経外科	“Reverse” bypass using a naturally formed “bonnet” superficial temporal artery in symptomatic common carotid artery occlusion: A case report.	Neurologia medico-chirurgica 54:851-853, 2014
82	Otani N,	脳神経外科	A ruptured aneurysm located at a collateral artery that expanded from the proximal A2 segment to the M1 segment associated with an anomalous branch of the anterior chroidal artery and middle cerebral artery hypoplasia: case report.	Neurologia medico-chirurgica 54: 201-204, 2014
83	Takeuchi S	脳神経外科	Sulfasalazine and temozolomide with radiation therapy for newly diagnosed glioblastoma.	Neurol India. 2014 Jan-Feb;62(1):42-7.
84	Takeuchi S	脳神経外科	Temporal profile of plasma adiponectin level and delayed cerebral ischemia in patients with subarachnoid hemorrhage.	?? J Clin Neurosci. 2014 Jun;21(6):1007-10.
85	Nagatani K,	脳神経外科	Surgical resection of developmental venous anomaly causing massive intracerebral haemorrhage: a case report.	Br J Neurosurg. 2014 Jan;28(1):116-8.
86	Sakiyama M	皮膚科学	Eruptive syringoma localized on intertriginous area.	J Dtsch Dermatol Ges 12(1): 72-73, 2014.
87	Fujimoto N	皮膚科学	Scrotal calcinosis may arise from cyst wall apoptosis.	J Eur Acad Dermatol Venereol 28(1): 128-130, 2014.

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
88	Hashimoto T	皮膚科学	Kimura's disease with prurigo lesions treated with systemic indomethacin.	J Eur Acad Dermatol Venereol 28(9): 1260-1262, 2014.
89	Shiba Y	皮膚科学	Isolated benign primary cutaneous plasmacytosis.	Int J Dermatol 53(9): e397-398, 2014.
90	Furuya A	皮膚科学	IgG/IgA pemphigus recognizing desmogleins 1 and 3 in a patient with Sjögren's syndrome.	Eur J Dermatol 24(4): 512-513, 2014.
91	Ono K	皮膚科学	In vitro amyloidgenic peptides of galectin-7: possible mechanism of amyloidogenesis of primary localized cutaneous amyloidosis.	J Biol Chem 289(42): 29195-29207, 2014
92	Yamauchi K	皮膚科学	Verrucous skin lesions on the feet in diabetic neuropathy: successful treatment using a hallowed-out sponge.	Australas J Dermatol 55(2): 158-159, 2014
93	Fujimoto Norihiro	皮膚科学	.Increase of elastic fibers in lichen sclerosus et atrophicus.	J Cutan Pathol 41: 646-9, 2014
94	Fujimoto Norihiro	皮膚科学	Highly site-selective transvascular drug delivery by the use of nanosecond pulsed laser-induced photomechanical waves.	J Control Release. 192: 228-35, 2014.
95	Fujimoto Norihiro	皮膚科学	Primary cutaneous follicle center lymphoma in a patient with WHIM syndrome.	J Eur Acad Dermatol Venereol. 2015
96	Miya Ishihara	泌尿器科学	Development of photoacoustic imaging technology overlaid on ultrasound imaging and its clinical applications	Proceedings of SPIE 9323: p.93232K-1-93232K-7, 2015.03
97	Kenji Kuroda	泌尿器科学	Clinical significance of p21-activated kinase 1 expression level in patients with upper urinary tract urothelial carcinoma	Japanese Journal of Clinical Oncology 45(1):P.103-110,2015.01
98	Hiroshi Shinmoto	泌尿器科学	Performance of T2-weighted MR Imaging and Apparent Diffusion Coefficient Map (前立腺腹側癌:T2強調像とADC mapによる診断能の検討)	AJR Am J Roentgenol: p.accept-4/12/2014,2014.12
99	Shinsuke Hamada	泌尿器科学	Clinical Characteristics and Prognosis of Patients with Renal Cell Carcinoma and Liver Metastasis (腎癌肝転移症例の臨床的特徴および予後に関する検討)	Mol Clin Oncol in press(in press): p.in press-in press,2014.09
100	Akinori Sato	泌尿器科学	Panobinostat synergizes with bortezomib to induce endoplasmic reticulum stress and ubiquitinated protein accumulation in renal cancer cells	BMC Urology 14(71):p.doi: 10.1186/1471-2490-14-(electric), 2014.09
101	Akinori sato	泌尿器科学	Ritonavir interacts with panobinostat to enhance histone acetylation and inhibit renal cancer growth synergistically	Mol Clin Oncol 2(6) : p.1016-1022,2014.08

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
102	Keiichi Ito	泌尿器科学	PREOPERATIVE RISK FACTORS FOR EXTRAUROTHELIAL RECURRENCE IN PATIENTS WITH URETERAL CANCER TREATED BY RADICAL NEPHROURETERECTOMY (This Month in Adult Urology) (腎尿管全摘を施行する尿管癌症例の尿路外再発を予測する術前因子の検討)	The Journal of Urology 191(6): p.1685-1692,2014.06
103	濱田真輔	泌尿器科学	Prognostic Impact of Fatty Acid Synthase Expression in Upper Urinary Tract Urothelial Carcinoma	Jpn J Clin Oncol 44(5): p.486-492, 2014.05
104	Keiichi Ito	泌尿器科学	Erythropoietin production in renal cell carcinoma and renal cysts in autosomal dominant polycystic kidney disease in a chronic dialysis patient with polycythemia (多血症を伴うADPKDによる慢性腎不全患者における腎癌と腎嚢胞におけるエリスロポエチンの産生)	Oncology Letters in press(in press): p.in press-in press , 2014.03
105	Keiichi Ito	泌尿器科学	Tumor necrosis is a strong predictor for recurrence in patients with pathological T1a renal cell carcinoma (腫瘍壊死はpT1a腎細胞癌の患者の再発予測因子である。)	Oncology Letters In press(In press): p.in press-In press , 2014.03
106	Miyamoto Morikazu	産科婦人科学	X-chromosome-linked inhibitor of apoptosis as a key factor for chemoresistance in clear cell carcinoma of the ovary.	Br J Cancer 110(12):2881-2886, 2014
107	Sasa Hidenori	産科婦人科学	Uterine artery embolization and methotrexate administration for conservative management of advanced interstitial pregnancy: a case report.	J Natl Def Med Coll 39(3):209-214, 2014
108	Kato Masafumi	産科婦人科学	DNA mismatch repair-related protein loss as a prognostic factor in endometrial cancers.	J Gynecol Oncol 26(1):40-45, 2014
109	Miyamoto Morikazu	産科婦人科学	Ovarian yolk sac tumor associated with pregnancy: a case report and review of the literature.	Eur J Gynaecol Oncol 35(6):738-740, 2014
110	Sei Kigna	産科婦人科学	Moyamoya disease and pregnancy: case reports and criteria for successful vaginal delivery.	Clin Case Rep 3(4):251-254, 2015
111	Miyamoto Morikazu	産科婦人科学	High-temperature-required protein A2 as a predictive marker for response to chemotherapy and prognosis in patients with high-grade serous ovarian cancers.	Br J Cancer 112(4):739-744, 2015
112	Masaru Takeuchi	眼科学	Evaluation of long-term efficacy and safety of infliximab treatment for uveitis in Behçet's disease: a multicenter study.	Ophthalmology 121(10)/1877-1884, 2014
113	Takayuki Kanda	眼科学	Prevalence and aetiology of ocular hypertension in acute and chronic uveitis.	British Journal Ophthalmology 98(7)/932-936, 2014
114	Kozo Harimoto	眼科学	Evaluation of mouse experimental autoimmune uveoretinitis by spectral domain optical coherence tomography.	British Journal Ophthalmology 98(6)/808-812, 2014

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
115	Tomohito Sato	眼科学	Acute anterior uveitis after discontinuation of tocilizumab in a patient with rheumatoid arthritis.	Clinical Ophthalmology 8/187-190, 2014
116	Tomohito Sato	眼科学	Treatment of irradiated mice with high-dose ascorbic Acid reduced lethality.	PLoS One. 10 (2): pp.e0117020- doi:10.137
117	Izumi Mine	眼科学	Varicella zoster virus-associated anterior uveitis in a seronegative adult without a history of chickenpox.	Clinical Ophthalmology 2015(9): pp.399-402
118	Atsushi Tamura	耳鼻咽喉科学	Low-level laser therapy for prevention of noise-induced hearing loss in rats.	Neuroscience letters. 2015 May 19;595;81-6. doi: 10.1016/j.neulet.2015.03.031
119	Daisuke Kamide	耳鼻咽喉科学	Minimally invasive surgery for pyriform sinus fistula by transoral videolaryngoscopic surgery.	American journal of otolaryngology. 2015 Feb 20; pii: S0196-0709(15)00058-7.
120	Daisuke Mizokami	耳鼻咽喉科学	Gene therapy of c-myc suppressor FUSE-binding protein-interacting repressor by Sendai virus delivery prevents tracheal stenosis.	PLoS one. 2015;10(1);e0116279. doi: 10.1371/journal.pone.0116279.
121	Yuya Tanaka	耳鼻咽喉科学	Transoral videolaryngoscopic surgery with a navigation system for excision of a metastatic retropharyngeal lymph node.	ORL 76(6):357-363,2014
122	Takaomi Kurioka	耳鼻咽喉科学	Characteristics of laser-induced shock wave injury to the inner ear of rats.	Journal of biomedical optics. 2014 Dec;19(12):125001. doi: 10.1117/1.JBO.19.12.125001.
123	Takaomi Kurioka	耳鼻咽喉科学	Inhaled hydrogen gas therapy for prevention of noise-induced hearing loss through reducing reactive oxygen species.	Neuroscience research. 2014 Dec;89;69-74.
124	Masayuki Tomifuji	耳鼻咽喉科学	Risk factors for dysphagia after transoral videolaryngoscopic surgery for laryngeal and pharyngeal cancer.	Head & neck. 2014 Sep 15; doi: 10.1002/hed.23866.
125	Takaomi Kurioka	耳鼻咽喉科学	Activated protein C rescues the cochlea from noise-induced hearing loss.	Brain research. 2014 Oct 2;1583;201-10. doi: 10.1016/j.brainres.2014.07.052.
126	Daisuke Mizokami	耳鼻咽喉科学	Composite hyoid bone graft interposition for the treatment of laryngotracheal stenosis.	ORL 76(3) 147-52,2014
127	Takagi Satoshi	放射線部	Combined multi-kernel chest computed tomography images optimized for depicting both lung and soft tissue	Clinical Imaging 38:104-108,2014
128	Koike Masayuki	放射線部	Appropriate incidence angle for fundamental research on new skyline radiography development	Radiological Physics and Technology 8(1):13-17,2015

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
129	Sadahiro Watanabe	放射線医学講座	Protective effect of inhalation of hydrogen gas on radiation-induced dermatitis and skin injury in rats (水素ガス吸入によるラット放射線性皮膚障害の防護効果)(博士論文)	Journal of Radiation Research:
130	Tamura Chiharu,	放射線医学講座	Diffusion kurtosis imaging study of prostate cancer: Preliminary findings(diffusion kurtosis imaging による前立腺癌の研究)	J Magn Reson Imaging 40(3): pp.723-729
131	Hiroshi Shinmoto,	放射線医学講座	Anterior Prostate Cancer: Diagnostic Performance of T2-weighted MR Imaging and Apparent Diffusion Coefficient Map(前立腺腹側癌:T2 強調像と ADC map による診断能の検討)	AJR Am J Roentgenol: pp.accept-4/12/2014
132	Hiroshi Shinmoto,	放射線医学講座	Diffusion-weighted imaging of prostate cancer using a statistical model based on the gamma distribution(ガンマ分布による 統計学的モデルを用いた前立 腺癌の拡散強調 MRI)	J Magn Reson Imaging: pp.accepted-2014/9/2A statistical mo
133	Masanori Kawaguchi	麻酔科	Molecular Hydrogen Attenuates Neuropathic Pain in Mice	PLoS ONE 9(6): p.1-10, 2014.06
134	Yuki Takabayashi	形成外科	Platelet-rich plasma-containing fragmin-protamine micro-nanoparticles promote epithelialization and angiogenesis in split-thickness skin graft donor sites.	J Surg Res. 193, 483-491, 2015
135	Aoki Shimpo	形成外科	Large Parosteal Lipoma without Periosteal Changes.	Plast Reconstr Surg Glob Open. 6;3, 287-7, 2015
136	Naoto Yamamoto	形成外科	Histological effects of occlusive dressing on healing of incisional skin wounds.	Int Wound J. 11, 616-621, 2014
137	Aizawa Tetsushi	形成外科	Modification of the Nuss Procedure: The Single-incision Technique.	Plast and Reconstr Surg Glob Open. 2, 256-256, 2014
138	Sumi Yuki	形成外科	Effective wound healing in streptozotocin-induced diabetic rats by adipose-derived stromal cell transplantation in plasma-gel containing fragmin/protamine microparticles.	Ann Plast Surg. 72, 113-120, 2015
139	Ohara Ichiyo	検査部	Proteomic analysis in usual and nonspecific interstitial pneumonia.	Histol Histopathol. 29(3):377-86,2014.
140	Oda Tomohiro	検査部	Polygonal cells with ceroid granules and myoepithelial cells in fine needle aspiration cytology of ceruminous adenoma.	Cytopathology. 25(1):67-8,2014.

小計12  
総計140

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が申請の前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る)。
- 3 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。
- 4 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1				
2				
3				
4				
5				
～				

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。
  - 3 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
・ 手順書の主な内容 審査申請者は申請書を防衛医科大学校長へ提出。学校長は委員会に諮問。委員会は審査し、結果を学校長に答申。学校長は答申に基づき審査結果を本人に通知。	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 1 1 回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
・ 規定の主な内容 利益相反を審議する利益相反委員会、不正防止計画の策定、コンプライアンス意識の啓発等を推進する不正対策防止室、不正に関する情報の通報窓口、不正に関する通報等があった場合に調査、審査、認定を行う不正対応委員会の設置及びその手続	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年 0 回

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 1 回
・ 研修の主な内容 臨床研究を行う上で必要な各種指針の趣旨、倫理委員会の審査の手続、被験者からのインフォームドコンセントを受ける手続に関する講習	



(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

医師である幹部自衛官（医官）に対して、国際貢献や災害時活動など国家的緊急事態における突発的な疾病・傷害に対する幅広い初期診療能力を習得させることを目標としている。災害初期診療における重症外傷患者に対して系統的な理論に基づいた診断と初期治療を迅速かつ的確に行う能力を身につけるとともに大量傷者発生に対応できる基本的能力を獲得させる。また専門領域以外の領域における初期診療に必要な基本的な知識を修得させ、積極的に救急医療及び災害医療の研修機会を持たせる。

2 研修の実績

研修医の人数	165人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
足立 健	内科	教授	26年	
熊谷 裕生	内科	教授	33年	
穂刈 量太	内科	教授	24年	
川名 明彦	内科	教授	31年	
木村 文彦	内科	教授	31年	
池脇 克則	内科	教授	31年	
山本 順司	外科	教授	34年	
長谷 和生	外科	教授	34年	
田口 眞一	外科	教授	31年	
吉野 相英	精神科	教授	31年	
野々山 恵章	小児科	教授	33年	
千葉 一裕	整形外科	教授	32年	
森 健太郎	脳神経外科	教授	33年	
佐藤 貴浩	皮膚科	教授	30年	
浅野 友彦	泌尿器科	教授	34年	
古谷 健一	産科婦人科	教授	36年	
竹内 大	眼科	教授	26年	
塩谷 彰浩	耳鼻咽喉科	教授	28年	
加治 辰美	放射線科	教授	36年	
風間 富栄	麻酔科	教授	34年	
池内 尚司	救急救命センター	教授	35年	
斎藤 大蔵	外傷研究部門	教授	32年	
清澤 智晴	形成外科	准教授	33年	
中西 邦昭	検査部	教授	35年	
小林 龍生	リハビリテーション部	教授	34年	
田中 祐司	総合臨床部	教授	31年	
辻 明	輸血・血液浄化療法部	教授	33年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべ

- てのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

(注) 1 高度の医療に関する研修について記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

## (様式第 5)

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
管理責任者氏名	病院長 長谷 和生	
管理担当者氏名	庶務課長 松岡 秀広 医事課長 平本 豊 材料部長 竹内 大 医療情報部長 池脇 克則 薬剤部長 曾根原 亘 医療安全推進室長 新本 弘 感染対策室長 横江 秀隆	

		保管場所	管理方法	
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		庶務課 医療情報部	カルテ等の病歴資料は医療情報部で一括管理している。外来カルテは診療科ごと、入院カルテは入院期間ごとに作成され電算機に登録管理されており、保存期間は10年である。医療記録利用規則により、院外への帯出は禁止している。	
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	庶務課	文書管理規則等に基づき、各担当課において作成文書・分類番号・保存期間等を入力し、管理している。	
	高度の医療の提供の実績	医事課		
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課		
	高度の医療の研修の実績			
	閲覧実績	庶務課		
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課		
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 薬剤部		
	第規一則号第一に掲げる十の十一の第一項及び第九の二十第一項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全推進室	文書管理規則等に基づき、各担当課において作成文書・分類番号・保存期間等を入力し、管理している。
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全推進室	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全推進室	
医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況		医療安全推進室		
専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況		医療安全推進室		
専任の院内感染対策を行う者の配置状況		感染対策室		
医療に係る安全管理を行う部門の設置状況		医療安全推進室		
当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況		医事課		

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則	院内感染のための指針の策定状況	文書管理規則等に基づき、各担当課において作成文書・分類番号・保存期間等を入力し、管理している。
	第一条	院内感染対策のための委員会の開催状況	
	第十一条	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	
	第一項	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	
	各号	医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	
	及び	従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	
	第九条	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
	の	医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
	第二十三	医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	
	第一項	従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	
第一号	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況		
に掲げる	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況		
体制の			
確保の			
状況			

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 現状	
閲覧責任者氏名	病院長 長谷 和生		
閲覧担当者氏名	各診療科部長 庶務課長 医事課長 材料部長、薬剤部長		
閲覧の求めに応じる場所	病院第3会議室		
閲覧の手続の概要 閲覧者の閲覧希望の内容に応じて、該当する各閲覧担当者は諸記録を所定の閲覧場所へ集積して、閲覧に供する。			

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0件
閲覧者別	医師	延	0件
	歯科医師	延	0件
	国	延	0件
	地方公共団体	延	0件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

(様式第 6)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
・ 指針の主な内容： 安全管理システムの構築、医療従事者の研鑽、安全管理組織の充実、インシデントレポートの推進、医療事故発生時の対応方針、患者家族との情報交換、患者相談窓口の設置	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 1 2 回
・ 活動の主な内容： (1) 病院内における安全管理のための指針の整備に関すること (2) 病院内における安全管理のための医療事故の報告要領に関すること (3) インシデント報告及びアクシデント報告に基づく医療事故防止に必要な方策の策定に関すること (4) 医療事故発生時の対応要領に関すること (5) 安全管理体制確保のために必要な職員の教育研修制度に関すること	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 2 回
・ 研修の主な内容： (1) 医療安全研修の実践 (2) 安全対策プロジェクトチームの取り組み (3) 採用時オリエンテーション (4) 院外講師による医療安全に関する講演 (5) 麻薬施用者講習会	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備 ( 有・無 ) ・ その他の改善のための方策の主な内容： (1) 合併症事例に係る報告の義務化 (2) 院内暴言・暴力に係る報告制度 (3) 安全対策プロジェクトチーム及び小委員会において改善策を検討及び検証のための病棟ラウンド	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 ( 1 名 ) ・ 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 ( 1 名 ) ・ 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無
・ 所属職員： 専任 ( 1 ) 名 兼任 ( 3 ) 名 ・ 活動の主な内容： (1) インシデント報告書の収集、分析、集計等を行うとともに再発防止を検討 (2) インシデント事例及び再発防止策の職員への周知・確認 (3) 医療安全に関する研修の企画立案及び実施 (4) 安全管理マニュアルの作成及び修正	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有・無

(様式第 6)

### 院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	☑・無
<ul style="list-style-type: none"><li>指針の主な内容： 院内感染の未然防止、発生時の迅速適切な対処を定めた基本方針、感染対策委員会、感染対策室及び感染管理チームの設置、各診療科等の感染対策管理のための責任者の配置、感染対策マニュアルの整備、院内感染発生時の対処、各種報告の義務、職員研修の実施及び患者等との情報共有</li></ul>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<ul style="list-style-type: none"><li>活動の主な内容：<ol style="list-style-type: none"><li>院内感染対策に関すること</li><li>院内感染管理体制に関すること</li><li>集団発生するおそれのある感染症の対策に関すること</li></ol></li></ul>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 2 回
<ul style="list-style-type: none"><li>研修の主な内容：<ol style="list-style-type: none"><li>医療安全研修の実践</li><li>周術期抗菌薬適正使用への取り組み</li><li>チームで取り組む医療安全～様々なインシデント事例（歯科学）を中心に～</li><li>消毒薬の適正使用を考える</li><li>チーム医療への第 1 歩～手術安全チェックリスト実践紹介～</li></ol></li></ul>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"><li>病院における発生状況の報告等の整備 ( ☑・無 )</li><li>その他の改善のための方策の主な内容：<ol style="list-style-type: none"><li>携帯版の感染対策マニュアルを作成し全職員に配布、携帯を義務付</li><li>イベント発生に即応した薬剤耐性菌やインフルエンザ等に関する職員教育の実施</li><li>A T P 拭き取り検査器等を使用した実地指導の実施</li><li>反復したラウンドを実施し遵守状況を数値可視化</li><li>部署毎に手指衛生使用量を計測し、1入院患者1日あたりの手指衛生回数をフィードバック</li><li>蓄尿の届け出、許可制を導入</li></ol></li></ul>	



(様式第6)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	☑・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年5回
・ 研修の主な内容： (1) 輸液の感染管理(2回) (2) 麻薬施用者講習会 (3) 薬剤に関する勉強会 (4) 初任者研修 薬剤の取扱い(2回) (5) 初任者オリエンテーション	
⑤ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成 (☑・無) ・ 業務の主な内容： (1) 医薬品の選定 (2) 医薬品管理 (3) 調剤 (4) 薬剤管理指導業務 (5) 医薬品情報 (6) 地域薬剤師会との連携	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (☑・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容：  (1) 医薬品の安全確認のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施 【収集方法】 ① 製薬会社医薬品情報担当者からの情報収集 ② 医薬品安全対策情報(DSU)からの情報収集 ③ PMDA、日本医療機能評価機構のHPからの情報収集 【周知方法】 ①院内メール、文書による配布、医療用端末における「掲示板」への掲示、薬剤部DIニュース  (2) その他(病院独自で取り組んでいる内容) ① オーダリングシステムによる安全管理 ② 医療上からの必要性から併用禁忌薬を投与せざるを得ない場合の対処 「併用禁忌薬取扱い指針」・「併用禁忌薬取扱い要領」の策定	

(様式第6)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年44回
・ 研修の主な内容： (1) 初任医師、看護師に対する各機器操作と安全管理 (2) 使用者に対する機器操作と安全管理 (3) 機器導入時の操作法と安全管理 (4) 使用現場巡回安全管理指導	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 計画の策定 ( <input checked="" type="checkbox"/> ・無 ) ・ 保守点検の主な内容： 人工心肺装置及び補助循環装置、人工呼吸器、血液浄化装置、除細動装置、閉鎖式保育器、診療用高エネルギー放射線発生装置、診療用放射線照射装置をはじめとする機器について、日常点検、定期点検を院内各部で分担又は部外委託で実施	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 ( <input checked="" type="checkbox"/> ・無 ) ・ その他の改善のための方策の主な内容：  医療端末掲示板から閲覧できる形の安全管理ガイドラインを作成し方針を示しているほか、リンク形式で添付文、マニュアル、研修内容、点検計画等の閲覧ができるようにしている。 また、院内メールを用いて随時安全情報を発信している。	

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・情報発信の方法、内容等の概要  病院のホームページにおいて、特定機能病院の役割を説明し、各診療科の診療内容、診療実績を紹介し、地域に向けた情報発信を行っている。	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要  カルテは電算機に登録されており、診療に関する情報はデータベースに集約され、また、システム上で他の診療科に対して紹介することができるようになっており、簡易かつ迅速な診療の連携が可能な体制になっている。	